

令和2年度第2回
柏市立図書館協議会
グループワークまとめ

柏市立図書館

Aグループ意見集約

(Aグループメンバー)

三浦会長, 加藤委員, 大野委員, 宮島委員, 上野委員, 増山委員, 丹間委員

ピンク付箋・・・情報提供からの気づき

黄色付箋・・・自身の意見, アイデア

学校との連携・学びの支援

交流

＜調べ学習の仕方＞
 ・本で調べ, タブレットで調べ(音を聴く)
 ・深い広がりのある学びの展開

学校指導要領に図書館の活用が明記されている

体験からもっと知りたいと思うことはあるので, 行事に関連する本の紹介は良い

先生方の授業づくりにおける教材研究でも図書館と学校の連携を深める

市立図書館と学校図書館の接続を図るために, 市立図書館にしかないメリットを知ることのできるプログラムを構想

外部との連携
 ・地域
 ・企業
 ・高校, 大学

学校図書館指導員の研修(年10回)と養成(リーダー制度)を通じた専門職集団ができた

授業と連動していたり, 授業から広がるような取り組みをしているのは良い

教科書を越えた情報提供
 →教科書で満足できない学びがある!

社会教育・生涯学習の中でモラルを学べるように

学校図書館で育った子どもたちにとっての市立図書館の利用を探る
 →社会人になってからも見据える

地域の子どもたちの共通話題として本を活用する

小学校では図書館(室)とわず「調べ学習室」と呼んでいる。
 →「読書」だけでなく「学習」「情報」のため

社会に出て学びを広げることができる子どもに!!
 学校図書館×市立図書館

「能動的な学び」が行える場

貸出冊数が成果指標として正しいのか?
 →子どもの学びにつながるか?

学校は学校, 先生は先生, 教科書は教科書として子どもたちの視野を広げる→図書館による学び

地域のコミュニティづくりを年代別に作ってみたいはどうか?

学校における図書館は昔の「読書」だけでなく, 色々な勉強に役立っている

図書館と図書館指導員のつながり

市立図書館職員が学校に出向く

学校図書館と市立図書館の貸出履歴の共有

授業で学んだことを更に調べるためのきっかけづくりが大切
 →問いかけをする等

市立図書館との交流の場を作ろう

同じ教科書ではなく異なる図書・情報から違いを作り出す
 →学び合い・対話が生まれる

学校での学びを本を通して現実の世界と連動させ, 結び付けている

学校で市立図書館の本が借りられる

市立図書館と学校図書館の落差をなくす
 →生涯を通じた接続・移行をデザインする必要がある

放課後忙しくて市立図書館に行けない
 →市立図書館が外に出していく!

GIGA・ICTの活用

場所の活用

その他意見

図書館資料
→タブレット・PCも含め
メディアの充実

GIGA端末に読んだ本の
タイトルをためていく

学校に行かない、いけ
ない子どもへの支援・
連携, 居場所作り

子どもたちの図書館認
識を育てる
アイデアを得られる場
所, 問題解決のヒントが
得られる場所

本の良さとインターネッ
トの良さを使い分けて
いる

市民の求める声に応え
られる市立図書館
に！！
→窓口での対応の変化
を

授業で知ったことを更
に深掘りして調べ, まと
めたり発表したりするこ
とで学びが深まる

資料の充実(紙だけで
はなく電子も)

・年齢別図書館
・体験学習図書館

ハンディキャップを持つ
子どもたちへの対応を
考える

本の量ではなく, 質の
充実・向上を目指す

新聞づくり
→メディアの多様化
表現方法も多様にな
ると良い

就学児対象の子ども図
書館があってもいいの
では

“知りたい”をどうやって
作る？

様々な禁止(〇〇持込
禁止)の禁止

GIGA端末の充電器を図
書館に整備

図書館が居場所となる
工夫を

子どもたち自身がルー
ル・マナーを考えられ
るワークショップ

学校図書館が育てたい
子ども像を持っているよ
うに, 市立図書館も理
想とする市民像を描く

GIGAが学校⇄市立図
書館の本の連絡便の
代わりになる

キャリア教育の場(職場
体験など)

市立図書館職員のレベ
ルアップを！！
・レファレンス
・コミュニケーション

公共の図書館にもカ
ラーがあった方が良い

Bグループ意見集約

(Bグループメンバー)

松清副会長, 笹間委員, 羽村委員, 窪田委員, 菅原委員, 田中委員

ピンク付箋・・・情報提供からの気づき

黄色付箋・・・自身の意見, アイデア

学校との連携・学びの支援

交流

GIGA・ICTの活用

市立図書館との違い！
自調自考の後，仲間と
伝えあう，協議する場
があって良い

地域資料を地域の人
が作り，図書館でアーカイ
ブして学校へ提供

待ちではなく働きかける
図書館

WEBと本のコラボは今
から一層求められる

デジタルでストック，共
有（職業体験など）

小中学校の調べ学習
→同じテーマを他者（グ
ループ）と協力し学び解
決することは，社会性を
身につける上で重要

学校教材として地域情
報の活用，地域人材の
活用

地域人材の活用

本と動画
→新しい学び方

GIGAスクール
→コンテンツの充実

読本は特別なことでは
なく生活の一部のこと
だと寄り添える仕組み
作りの基礎が学校図書
館

学区で9年間同じテー
マを伝えることは地域
社会教育の一歩につな
がる

QRコード読み込んでみ
んなで共有

Webを学校への導入に
より，広く深くWeb社会
の底上げとなっていく

バーチャル図書館も近
づいている

場所の活用

図書館×カフェ
・議論するスペース
・学び合いのスペース
・コミュニケーション能力を高める

親子が行って楽しめる
図書館

その他意見

補助的な役割から、
様々な発想を飛ばす支
えにしてみても

デザインの力を入れて
みては？

一側面から見た資料提
供をしていないか

問いへのアプローチ方
法を指導(ディスプレイ
を両向きにしたり)

本を読むことは特別な
ことではなく、生活の一
部となる雰囲気づくり

プロの協力も必要では
ないか

目的の本ではなく、隣
にあった本との出会い
も大切

本を手にすることの大切さ

巡回展できない？

外部予算取れない？